

# なかの 市議会だより

4 月号

2020年(令和2年)  
4月20日発行  
No.60

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



高社小学校開校式



北部地区4小学校閉校式



ひらおが保育園オープニングセレモニー

● 市政一般質問	陳情	請願	事件案	予算案	条例案	● 議案等件数及び議決内容	会期	閉会	開会
48件	1件 不採択	2件 不採択	3件 可決	13件 可決	1件 承認	16件 可決	21日間	3月19日	2月28日

3月定例会



## 新型コロナウイルス 対策について

芦澤 孝幸

**質問** 市内の公共施設における対策はどうか。

**答弁** 保育所および学校では、手洗い、うがいの徹底、手指のアルコール消毒、咳エチケットの実施のほか、こまめに部屋の換気等を行っている。高齢者施設では、利用者および職員への発熱の有無や健康状態の確認を行うなど、国の指導に沿った対応をしている。

**質問** 全国的にマスク、消毒液等が不足している。各施設での備蓄状況とその対策をどう考えるか。

**答弁** どの施設においても当面の間、業務継続に支障がない分を備蓄している。不足が生じた場合には、市が保管している備蓄品を補充していく。

**質問** 市の備蓄量の状況は。

**答弁** 新型インフルエンザ等感染症対策として、マスク5万300枚、消毒液5ℓ容器34本の備蓄がある。

**質問** 現在および今後の対策は。

**答弁** 市公式ホームページや音声告知放送、中野市すぐメール、広報なかのなどを活用し予防方法等について周知している。今後は、対策本部の決定に基づき正確な情報提供の強化・徹底のほか、市の組織における感染拡大防止対策や関係機関との連携により、一層の感染症対策の徹底を図っていく。

## 若者活躍社会について

**質問** 長野県立大学と連携協定を締結したが、その取組状況は。

**答弁** 平成30年10月から半年間、ソーシャル・イノベーション創出センターへ職員1人を派遣した。また、審議会等の委員を大学の先生にお願いしているほか、相談や情報交換などを行っている。

**質問** 信州大学など他大学と連携する考えは。

**答弁** 現在のところ予定はないが、必要に応じて考えていく。

## 中野市の魅力発信について

**質問** PR大使等の成果および大使等を増員させる考えは。

**答弁** それぞれ多方面で活動していただいており、本市の認知度向上などに一定の成果がある。大使等の増員については、目的や時代の流れなどを見極めながら必要に応じて検討していく。



## 平岡小学校付近の 交差点の交通安全対策 について

清水 正男

**質問** 信号機設置要望への対応は。

**答弁** 地元区から要望があり、警察、道路管理者等が現地調査を実施した。信号機の設置要件を満たしてい

ないため、旧県道側に一時停止標識の設置等を行った。

**質問** 令和3年度の放課後児童クラブの新設に伴い、年間約1万3千台を超える交通量の増大が予想される

が、その対応は。

**答弁** 道路の利用状況の変化に伴い、地元区等から道路環境の改善要望があった際には、警察や道路管理者と連絡調整を実施する。

## 市内の公設温泉施設について

**質問** 施設修繕に係る市と指定管理者との負担割合は。

**答弁** 基本協定で責任分担

を定め、年額100万円を超えるものは市が負担する。

**質問** 指定管理期間終了時に施設の点検、確認は行っているのか。

**答弁** 行っていない。

**質問** 脱衣場ロッカールの故障などの施設の不具合を修繕すべきではないか。

**答弁** 令和2年度において各施設の修繕を行う。

## 長野電鉄木島線廃線敷の 利活用について

**質問** 近隣自治体では、地域振興等にサイクリングが取り入れられている。廃線敷を自転車専用道路に活用しては。

**答弁** 道路と交差する箇所が多く、安全対策、整備に多額の費用が見込まれ、難しいと考える。

たかやしろ・見晴らし街道について

質問 街道の名称は、地元で全戸アンケートを行い決定した。命名後、6年が経過しても街道入口へ案内看板が設置されていない。看板設置の考えは。

答弁 令和2年度早期に設置できるように検討する。

ふるさと寄附金について

質問 総務省通達による返礼品の変更状況は。

答弁 寄附額の3割を超える返礼品は3割以下とし、また、資産性の高い物、高額の物は自粛している。

質問 県内の他自治体の状況を把握しているか。

答弁 家電や工業製品等を

扱っている自治体が大きく寄附額を伸ばしている。

質問 近隣自治体では8社のポータルサイトを利用し大きく寄附額を伸ばしている。中野市もポータルサイト数を増やしては。

答弁 現在2社と契約しているが、さらに寄附額の増加を図るため、新年度から新たなポータルサイトの導

入を行う予定である。

質問 中野市を応援する方のニーズを把握し、返礼品の取り扱いを改善しては。

答弁 返礼品の先行予約ができるよう検討する。

(注) ポータルサイト  
ホームページ等へアクセスするための情報検索システムやニュースなどの様々なリンク集が設置されているWEBサイトのこと。

随意契約ガイドラインについて

松樹 純子

質問 随意契約ガイドラインの作成経過は。

答弁 これまで以上に適正な随意契約をすることを目的に、他市の状況を参考に素案を作成し、中野市建設工事等業者選定委員会等で検討した上で作成した。

質問 評価と今後の課題は。

答弁 本年2月から試行し、4月1日から本格運用する予定であり、本格運用後は検証を行っていく。

業務委託について

質問 学校庁務、南部学校給食センター調理、市立図書館力ウンター、学校図書館管理の各業務委託は令和2年度どうするのか。

答弁 全業務とも、内部評価で問題ないと判断し、1年契約で委託することとしている。学校給食センター調理業務は、南部と北部の両施設を一括して委託する。

質問 学校給食センター調

子育て支援について

理業務委託は、正規職員の人事異動を考え合わせるとかなり財政負担増になるが

答弁 現在のところ市全体としては負担増となる。

質問 令和2年度の保育所入所希望者の受入状況は。

答弁 4月1日に入所希望の児童1千262人全員が、入所できる見込みである。

質問 保育士の確保状況は。

答弁 令和2年度は、前年度比較10人の増加である。

質問 保護者に提出を求めた「保育料・副食費納付誓約書」はどういうものか。

答弁 利用者負担の公平性を確保するため、保育料の

希望保育拡大への対応は。

答弁 保護者の就労状況などを考慮し、来年度以降、休園日の見直しを検討する。

質問 中野市保育所あり方検討懇話会の設置理由は。

答弁 今後の保育所運営や施設の整備方針、民間活力の導入等について、識見のある方や園児の保護者、保育士等から様々なご意見をお聞きするために設置した。

質問 子育て中の保護者と子どもの居場所確保について、どう考えているか。

答弁 市内3カ所の子育て支援センターは、育児不安の相談や子育て情報の提供、様々な行事も行っており、好評である。市内6カ所の子どもカフェは、地域の支援を受けながら子供達の居場所、親同士の交流の場として運営されている。より良い活動となつて広がっていくよう、支援を継続したい。

その他の質問  
・高齢者支援について



## 公金収納の キャッシュレス化に ついて

塚田 一夫

**質問** 市・県民税をはじめとする各種税金および上下水道料金等の納付率向上のため、納付書にバーコードを印字し、スマートフォンで決済することができるようにはしている。

**答弁** 納税方法については、公平性の確保と納税者の利便性の観点から、納め忘れの少ない口座振替を推進している。

現在、いわゆるスマホ決済への対応はしていないが、

スマホ決済は幅広い世代での利用が見込まれるため、費用対効果等を考慮しながら、中野市公金収納推進事務担当者部会等で検討していく。

**質問** 庁内窓口での各種証明書等の発行手数料の支払いに、QRコードを利用したスマホ決済を導入する考えは。

**答弁** 納税等のスマホ決済と同様に検討する。

## 防災強化について

**質問** 技術職員不足への対応は。

**答弁** 近年、技術職員の応募者数が減少傾向にあり、採用予定人数の確保が困難な状況である。今後も職員採用に関するPR等を行い、災害時も想定した計画的な採用に努める。

**質問** 避難勧告・指示などの伝達方法を見直す考えは。

**答弁** 有事の際は、防災行

政無線をはじめ音声告知放送、中野市すぐメール、さらには消防団による広報や緊急速報メール等を活用している。音声告知放送については、情報を正確にお伝えするため、該当する地区名をはつきり放送するとともに、運用面においても改善を図っていく。



## 市の文化行政について

中村 明文

**質問** 市民の市民会館リノベーションに対する意見への対応は。

**答弁** いただいた意見は、リノベーションのテーマやコンセプト、事業費を踏まえながら、必要に応じて設計に反映したい。

**質問** 文化芸術振興基金はソフト面にも活用すべきではないか。

**答弁** 基金は、これまでも市の文化芸術の振興のために活用してきたが、今後、更に研究していきたい。

**質問** 信州なかの音楽祭は、令和2年度以降も開催するのか。

**答弁** 中野市らしさを強く発信できるイベントであることから、引き続き取り組んでいく。

**質問** 公民館は、生涯学習の推進に一層取り組みむべきでは。

**答弁** 市民ニーズの把握に努めるとともに、職員研修の充実を図り、活動が一層活性化されるよう、利用者団体に対して指導・支援をしたい。

## 都市再生特別措置法の改正について

**質問** 法改正に伴い「まちなかウォーカーカブル区域」を設定することができるが、市の対応は。

**答弁** 区域設定は、官民一

体となって進めていく必要があり、市街地の活性化に活用できるか、今後、研究していきたい。

## 太陽光パネルの災害対応について

**質問** 全国では、災害防止等の観点から太陽光パネルの設置規制を行う自治体がある。市内の設置数を把握しているか。また、設置を規制する考えは。

**答弁** 太陽光パネルの設置数は、届け出義務がないため把握していない。太陽光パネルの設置規制や適正設

(注) リノベーション

既存の建物に行う用途、機能等の変更、性能の向上や付加価値を与える大規模な改修工事のこと。

## まちなか

ウォーカーカブル区域

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創造を目的とし、官民の連携により広場整備、緑化推進等を行う区域のこと。

置については、国・県のガイドラインを参考にして研究したい。

### 会計年度任用職員について

質問 会計年度任用職員の採用数と財源措置は。  
 答弁 令和2年度は420人の

採用を予定している。制度施行に伴い、国による財政措置がなされる。

### 学校給食センターの調理業務委託について

質問 業務の委託先は。  
 答弁 令和元年度に南部学校給食センター調理業務を

受託している業者に決定した。  
 質問 業務委託先決定に係る入札・契約の方法は。  
 答弁 入札・契約の方法は随意契約である。



## 令和元年東日本台風について

青木正道

質問 本年1月、国は信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを発表した。プロジェクトにある遊水地計画の進捗度、工事着工の時期は。  
 答弁 国によると遊水地の位置および対策内容は、今後の調査、検討等を踏まえ決定し、着工の時期については地域への説明、調査等を進め決定すること。

が行われれば可能である。  
 質問 災害時、民間の駐車場を車両等の緊急避難場所とする協定を締結しては。  
 答弁 他市町村の取り組みを参考にしながら検討する。

療機関は11病院あり、病床数は46床である。このうち北信総合病院には4床あるが、中野市でそれを上回る感染者が発生した場合は、どのように対応するのか。  
 答弁 2月25日に政府が発表した基本方針では、大幅に患者が増加した場合には、感染が疑われる方等は一般の医療機関でも受け入れを行うものとされたと認識している。

### 新型コロナウイルスについて

質問 雨水貯留施設を学校のグラウンドや遊休荒廃農地に設置できないか。  
 答弁 現在、検討は行っていないが、学校のグラウンドは学校運営に支障がなければ可能であり、遊休荒廃農地は、農地の転用許可等

質問 昨年発生した新型コロナウイルスは、3月9日現在、100カ国以上に拡大し、感染者は10万6千人以上となった。このウイルスは、SARS、鳥インフルエンザ同様、第2類感染症である。県内には、このウイルスに感染した場合の指定医

### 暖冬などによる市内経済への影響について

質問 今年は極端に降雪が少なく、除雪業者は待機しても出勤がないため委託料収入がない。他市では、委託料の一定割合を前払いするなどしている。中野市でも除雪業者に配慮した支払い方法を採用しては。  
 答弁 今後、研究したい。

質問 今冬、市の基幹産業であるキノコの単価が低い。エノキ茸は免疫力向上効果があるとされ、機能性表示食品に認定された。これを踏まえ、感染症予防等についてアピールしては。  
 答弁 JAでは、レシピ本SNS、イベント等において、機能性表示食品であることをPRしている。市でも可能なものについては、積極的に実施したい。

(注) 機能性表示食品  
 事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品のこと。安全性および機能性の根拠等について消費者庁へ届け出た食品である。特定保健用食品とは異なり、消費者庁の個別の許可は受けていない。





令和元年東日本台風による  
被害の復旧・復興状況  
について  
松野 繁 男

質問 台風被害から間もな  
く5カ月が経過するが、復  
旧・復興は道半ばである。  
被災者に寄り添うとした市  
長の思いは。

答弁 家屋被害、農業被害  
等について、被災者の不安  
心配を丁寧に取り除き、一  
日も早く普段の生活に戻れ  
るよう施策を進める。

質問 上今井区の住宅地域  
における浸水防止対策の進  
捗状況は。

答弁 ボックスカルバートの  
閉鎖や水路改修は、県と  
協議しながら、また、本沢  
川の固定式排水ポンプ設置  
は、いずれも出水期までに  
工事を実施する。

中野市水防計画について

質問 市内に設置されてい  
る樋門・樋管数とその管理  
体制は。また、訓練等は。

答弁 国管理が5カ所、市  
管理が15カ所の計20カ所  
である。このうち市が操作す  
る樋門が4カ所、区へ委託  
する樋門が14カ所、国が個  
人へ委託する樋門・樋管が  
2カ所である。毎年、樋門  
・樋管連絡会で操作要領を  
説明し、希望区に対しては  
模擬訓練を行っている。

質問 現在の水防計画は平  
成27年に作成された。現状  
にあわせ改定すべきでは。

併せて、樋門・樋管の位置  
を図面等に記載すべきでは。  
答弁 直ちに改定を行う。

市民会館整備について

質問 2回の市民説明会と  
パブリックコメントの結果  
から、現市民会館のリノベ  
ーションによる整備計画案  
は理解されたと判断するか。  
答弁 一定の理解を得られ  
たものと考ええる。

質問 設計段階での市民か  
らの意見聴取方法は。また  
広く寄附を募る考えは。

答弁 幅広い年齢層が参加  
しやすい説明会やワークシ  
ョップを開催し、意見を  
聞き取る。寄附等の募集に  
ついては、市内の団体や企  
業、個人、本市出身の方等  
にお願ひし、市の財政負担  
軽減を図りたい。  
質問 利便性を考慮して、  
市民会館の入口を現在の北

側から南側に変更しては。  
答弁 市役所との一体性、  
駐車場共有化の観点等から  
設計の段階で検討する。

豊田小学校について

質問 工事の進捗状況は。  
答弁 材料調達の遅れから  
工期を半年程度延長せざる  
を得ないが、令和3年4月  
開校までに完了する。

質問 新小学校の運営方針  
グラントデザインは。  
答弁 現在の案であるが、  
学校教育目標は「かしこく  
ゆたかに たくましく」、  
目指す学校は「質の高い教  
育で未来を切り開く力を育  
てる学校」としている。

質問 新小学校の運営方針  
グラントデザインは。  
答弁 現在の案であるが、  
学校教育目標は「かしこく  
ゆたかに たくましく」、  
目指す学校は「質の高い教  
育で未来を切り開く力を育  
てる学校」としている。

(注)  
ボックスカルバート  
地下道、水路、貯留  
槽等に使用される箱型  
のコンクリート構造物  
のこと。様々なインフ  
ラ事業で活用されてい  
る。

ワークショップ

講師の講演を参加者  
が一方的に聞くのでは  
なく、参加者自身が討  
論に加わる双方向性の  
グループ学習等により  
課題解決を行う研修会  
等の形式のこと。

グラントデザイン

大規模事業における  
長期計画・構想のこと。



市民会館の  
リノベーションについて

阿部 光 則

質問 市民説明会およびパ  
ブリックコメントでの意見  
等は。

答弁 音響設備の充実、美  
術品展示への対応、駐車場  
スペースの拡充等の意見を

いただいた。  
質問 リノベーションを担  
当する職員には、高度な専  
門性が要求されるが。

答弁 リノベーションには、  
音響設備等について特殊な

技術が必要となる。設計業  
者ほか専門業者と充分協議  
しながら事業を進めていく。  
質問 旧中野高校跡地への  
建設を断念したことに対し  
て残念だという声もある。

今回の新たな計画をもっと市民に説明すべきでは。

**答弁** リノベーションは、将来負担が少なく、健全財政が維持できること等も含め、可能な限り説明を行っている。

**中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について**

**質問** 戦略にSDGsが取り入れられたが、どのように取り組むのか。

**答弁** SDGsを原動力とした取り組みを意識し、事業を推進していく。

**質問** 昨今の気候変動を踏まえ、長野県ほか県下いくつかの自治体では「気候非常事態宣言」を行った。中野市も宣言をしようか。

**答弁** 県が宣言した時点では、実施内容が明確ではないなどから宣言は行っていない。しかし、宣言の趣旨については賛同しており、県主催の啓発イベントへの参加等を行っていく。

**質問** 第2期目の戦略にも、安心安全・健康長寿のまちづくりを掲げている。高齢者が組織する老人クラブ等への支援が大幅に後退した。これにより組織の存続が難しくなったとの声がある。老人クラブの意見等に耳を傾けるべきではないか。

**答弁** 令和元年度に補助金交付制度を変更したことに伴い、事務手続等について戸惑いの声がある。丁寧な対応を心がける。

**国民健康保険について**

**質問** 国民健康保険の加入世帯では、子どもの人数が多いほど負担が重くなる。全国では軽減策を実施する自治体も増えつつあるが。

**答弁** 応能割および応益割の比率については、50対50を原則とし、受益に対する負担を考慮しつつ、被保険者の方々に大きな影響がおよぶことがないようにする。

**教員の变形労働時間制について**

**質問** 国は、教員の变形労働時間制の導入を可能とすることを決めたが。

**答弁** 導入にあたっては、学校の働き方改革を進める

中で、学校現場と協議しながら慎重に判断していく。

その他の質問  
・ **全世代型社会保障について**

(注)  
SDGs

国連で採択された「持続可能な開発目標」のこと。地球を保護し全ての人が平和と豊かさを享受できるように、2030年までに貧困、飢餓の解消など17の目標達成に国連加盟国が取り組むこととしている。

(注)  
応能割・応益割

国民健康保険税は、収入や資産に応じて計算される「応能割」と、世帯や被保険者の人数に対して賦課する「応益割」を組み合わせ算出されている。

教員の变形労働時間制

教員の働き方改革の一環として、繁忙期の勤務時間の上限を引き上げ、夏休み期間中の休日を増やすことができる制度のこと。自治体の判断により令和3年度から導入が可能となる。



**令和元年東日本台風被害について**

永沢清生

**質問** 令和元年東日本台風により浸水、土砂堆積等の被害があつた古牧区から柳

沢区までの無堤箇所、田上区から岩井区までの堤防の一部低い箇所、夜間瀬川堤

防の越水箇所等は、台風等による被害が今後も予想される。こうした箇所への防災対策の実施状況および今後の対応は。

**答弁** 夜間瀬川の越水箇所等、令和元年東日本台風により被災した箇所および今後被害が予想される箇所については、関係する同盟会

その他の質問  
・ **特殊詐欺被害防止対策について**





## 令和元年東日本台風被害 の復旧状況について

宮島 包義

**質問** 公費解体制度の利用状況は。

**答弁** 3月9日現在、住家り災判定がなされていない非住家を合わせ15世帯の方から32棟の解体希望があった。解体は、4月頃から順次、実施していく予定である。

**質問** 農地の堆積土砂、稲わら等の堆積物の撤去状況は。

**答弁** 3月9日から堆積土砂の撤去作業に着手しており、5月上旬には全て完了

させたいと考えている。稲わら等の堆積物は、集積場への搬入が完了し、現在、集積した稲わらを処分場へ搬入している。

**質問** 被災した農業用取水施設の復旧状況は。

**答弁** 被災した全ての施設の機能回復を図るため、業者との請負契約が締結となったものから、復旧工事に着手している。

**質問** 用水・排水路の復旧状況は。

**答弁** 農業用取水施設の復

旧対応と同様に着手している。機能向上のための改修や修繕は行っていない。

## 治水対策について

**質問** 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期実現に向けた取り組みは。

**答弁** 国の事業として、立ヶ花河道掘削や市内から飯山市内にかけての範囲において遊水地の計画が示されており、早期実現に向けて国、県と連携を図り推進していく。

**質問** 篠井川排水機場の排水能力向上を図っては。

**答弁** 国および県に対し、継続して、関係する同盟会から要望してきたが、さらに強く要望していく。

**質問** 一級河川真引川の内水氾濫防止対策は。

**答弁** 河川管理者の県では流水能力向上のため、しゅんせつおよび掘削工を計画的に行っているとのことである。遊水地の設置は現在のところ考えていないとのことであるが、今後、地元からの要望をお聞きして、さらなる内水氾濫防止対策を検討されるよう関係する同盟会等と連携し、県に要望していく。

## 農地遊休化防止策について

**質問** 人・農地プラン懇談会の検討結果の公表方法は。

**答弁** 令和元年度中に、市公式ホームページで懇談会

での話し合いの内容や意見などを公表する。

**質問** 広域電気柵の恒久化対策は。

**答弁** 現在のところ、恒久柵化は予定していないが、次回の更新時に併せ研究する。



## 公契約条例と入札・ 契約制度について

高木 尚史

**質問** 公契約条例の制定は、県と先進市の対応を参考に研究するとしてきたが、条

例制定の対応状況は。

**答弁** 県の条例、他市の状況を参考として、引き続き

研究していきたい。

**質問** 随意契約ガイドラインを定めたが、明確な規程にして周知をしてはどうか。

**答弁** 本格運用後に、検証をして研究していきたい。

**質問** 長期継続契約の条例改正案が提案された。役務の提供などの基準が不明確であり、条例が議決される

前に長期継続契約手続きを進めているのは問題だ。

**答弁** 今定例会で条例を認めていた。ただし、令和3年度から運用していきたい。

**質問** 長期継続契約の実績は。

**答弁** 財務会計システム保守点検業務や下水道終末処理場維持管理業務等である。

**質問** 改正前の条例による長期継続契約の実績は。

**答弁** 各課で契約をしており、現在、集計していない。

**質問** 改正条例の「役務」の運用基準を明確化し、また、実績を公表すべきでは。

**答弁** 今後、内規等の策定について研究していきたい。

第8期老人福祉計画と介護保険事業計画の策定について

質問 介護保険制度発足時の地域社会と皆で支え合う制度は破綻している。計画策定の基本方針は。

答弁 国の基本方針を受けて、本市の状況に合わせた基本方針を定める。

質問 国は、被保険者および受給者の範囲、居宅介護支援費の自己負担導入等の見直しを検討しているが、どう考えるか。

答弁 介護保険制度は、食費・居住費の補足給付と、高額介護サービス費の上限額等が見直される。制度改正の動向を注視しながら、本市の計画策定に取り組み

質問 老人クラブは会員とクラブ数が減少している。生きがいづくりと社会参加への支援策は。

答弁 老人クラブ活動への助成制度を見直したが、今後も丁寧に対応したい。

特定外来生物の対応について

質問 アレチウリやオオキンケイギクなどの特定外来生物の実態把握はどうか。

答弁 市内に存在しているが実態は把握していない。

質問 私権にも関係するが駆除などの対応はどうか。

答弁 市が管理する土地や

施設等で把握した際には、除草等により駆除している。

質問 広報紙等で市民への注意喚起を図るべきでは。

答弁 関心、知識を持つていただくことが大切であるため、一層の周知に努める。

市民会館の整備について



中村 秀人

質問 旧中野高校跡地に新市民会館を建て替える方針を変更し、現市民会館をリノベーションする決定に至った経過は。

答弁 庁内検討委員会にて旧中野高校跡地への新築を主に検討したが、有利な財源がなく、将来の財政状況を踏まえると事業着手の目途が立たなかった。

そのため、国の施策や現在の財政状況を考慮し、現市民会館のリノベーション

も視野に入れ検討を進めた。昨年10月に劣化状況調査を実施したところ、耐震補強、劣化防止対策により、今後30年以上の長寿命化が可能との報告をいただいた。

これを受け、利用者の安全・安心の早期確保、今後の財政負担軽減と新たな価値の創造が可能であることからリノベーションを行うこととした。

質問 旧中野高校跡地の利活用についての考えは。

答弁 防災広場の充実は考えていない。空き校舎の利活用については、公共施設最適化計画の中で市全体の公共施設における位置付けを踏まえて検討する。

また、市の都市計画マスタープランで「歴史と緑のふれあい拠点」とする東山公園一帯の環境資源の維持継承も踏まえて幅広く検討していく。

千曲川に通ずる支流の治水対策について

質問 砂防堰堤の現状と対策は。

答弁 県によれば定期的に堰堤本体および堆砂状況を調査しており、土砂がある

程度たまった状態でも、勾配が緩くなることで水の流れを遅くし、土石流抑制効果があることから、市内全箇所とも堰堤機能を確保しているとのことである。

中小・小規模事業者をめぐる環境について

質問 働き方改革、消費増税等の影響をどう捉えるか。

答弁 昨年4月からの「年次有給休暇の確実な取得」の義務付けや昨年10月の消費税率引き上げにより、人手不足や事業継承への影響が指摘されている。こうしたことに対する国の対応策を注視していく。

質問 地球温暖化と農業経営についてどう考えるか。

答弁 近年の異常気象により農産物価格が低迷し、不安定な経営を余儀なくされていることは承知している。気候変動に左右されない競争力のある農産物開発が必要と考える。また、都市部消費者の誘客事業やJAおよび関係機関との連携、市内飲食店の協力により「信州なかのブランド」の構築と販路拡大を進める。





## ストリートピアノの設置について

町田 博文

**質問** 小学校統合による空きピアノを活用して、ふさわしい場所を選んで音楽都市・中野市ならではの工夫を凝らしたストリートピアノを設置してはどうか。新たな出会いと交流や賑わいが生まれ、ストリートが生まれることを期待する。

**答弁** 管理方法や関係機関との調整が必要であり、今後、研究していく。

## サポカー補助金について

**質問** 国は、65歳以上の高齢者を対象にサポカー補助

## GIGAスクール構想の実現について

**質問** 国は、子ども1人に対し1台のコンピュータ端

末と学校へ高速大容量の通信ネットワークを整備するため、ギガスクール構想の実現に乗り出した。端末整備は、全国平均では児童・生徒の5・4人に1台となっている。中野市の現在の整備状況はどうか。

**答弁** 4・8人に1台である。モデル校である平岡小学校と高社中学校は、タブレットとパソコン端末を合わせ2・3人に1台である。

**質問** 今後の具体的な整備方針はどうか。

**答弁** 令和2年度は校内通信ネットワーク整備を行うこととし、令和5年度までに1人1台の端末を整備する予定である。

## 災害時における情報共有情報伝達等について

**質問** 発災直後の被災現場で、救助を求める人の捜索や被災現場の状況掌握を迅速に進めるために、ドローンを配備してはどうか。

**答弁** 既に1台導入している。今後、操縦できる職員を増やし、追加購入や撮影画像等のリアルタイムでの伝送を研究していく。

## 市営住宅の連帯保証人について

**質問** 連帯保証人を見つけれなくても入居が可能となる条例改正ができないか。

**答弁** 連帯保証人の選任が原則であり、考えていない。

**質問** 県は、県社協の入居保証により入居が可能とな

る「長野県あんしん創造ねっと」を開始した。中野市でも本制度を活用しては。

**答弁** 今後、研究していく。

## リース契約を活用した学校設備等の改善について

**質問** 学校ほか公共施設のLED化を促進するため、リース契約を活用しては。

**答弁** 事業費を平準化して実施できるなどのメリットがあるため、今後、研究していく。

## (注) サポカー補助金

安全運転サポート車の車両購入および後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置導入に対する補助金のこと。

# 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された議案13件、請願2件について、2月28日、3月11日および12日に審査しまし

た。

主なものとして、中野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案は、県か

ら示された国民健康保険事業費納付金および標準保険税率に基づき国民健康保険税の税率を引き下げるもの

で、原案どおり可決されました。

令和2年度中野市一般会計予算については、予算総

額が209億6千400万円となるもので、これは大型建設事業の減少等により前年度比12億5千300万円、6・7%↓

減でありました。予算審査にあたり、教育費において学校給食センター調理業務

について、民間委託を行わず従来どおり市で行うものとすべきとの修正案の提出

がありましたが、審査の結果修正案は否決となり、原案どおり可決されました。

学校給食センター調理業務の民間委託を止めることを求める請願については、

令和2年度予算案が原案どおり可決されたため、みなし不採択といたしました。

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された議案14件、陳情1件について、3月11日および12日に審査しました。

主なものとして、中野市霊園条例案は、中野市民霊園へ新たに合葬式墓地を設置することに伴う所要の改

正、中野市人権センター条例の一部を改正する条例案

は、中野市人権センター南部集会所を令和2年3月31日をもって廃止するため、

所要の改正を行うもので、それぞれ原案どおり可決されました。

令和2年度中野市国民健康保険事業特別会計予算は

県納付金の大幅減額および標準保険税率の減少に伴い

国民健康保険税を大幅に引き下げたものであり、原案どおり可決されました。医師養成定員を減らす政

府方針の見直しを求める陳情については、人口減少や

これまで実施した医師増加政策を考えると、将来的には医師数は充足し、また、

地域医療を担う医師の増加策については、今後、検討されるものと考えられると

の意見、日本は絶対的な医師不足である。地域間や診療科間の医師偏在への対応

には、医師を増やす必要があるとの意見があり採決の結果、不採択となりました。

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された議案11件について、2月28日、3月11日および12日に審査しました。

主なものとして、中野市森林経営管理基金の設置、管理及び処分に関する条例案は、本市における林業経営の効率化および森林の管理の適正化の一体的な促進

を図るため、中野市森林経営管理基金を設置すること

から、本条例が制定されるものであり、原案どおり可決されました。

令和2年度中野市一般会計予算は、労働費2千814万

円、農林水産業費12億3千719万円、商工費8億2千894万4千円、土木費23億4千

433万4千円となるものです。

委員会所管部分の主なる増額事業は、農林水産業費

の産地パワーアップ事業補助金が前年度比約2千733万円増の1億9千409万1千円、商工費の工場設置事業助成金が前年度比約5千773万円増の7千12万5千円、土木費の表層舗装工事が前年

度比約5千773万円増の3億357万7千円であり、審査の結果、原案どおり可決されました。

台風第19号豪雨災害復旧事業農地・用排水路復旧工事請負契約の締結については、令和元年東日本台風による災害復旧のため、農地および用排水路の復旧工事

について、工事請負契約を締結するものであり、原案

どおり可決されました。

## 高速交通対策特別委員会報告

当委員会におきましては北陸新幹線長野・金沢間の開業後の本市における環境に係る諸問題、高速自動車道の整備等について、協議を重ねてきました。

本委員会における、これまでの協議経過等についてご報告します。

はじめに、北陸新幹線の運行に係る騒音および振動について、騒音問題につきましても環境省からの委託を受け、長野県が毎年度実施している測定の結果が、昨年12月23日に公表されました。

この測定結果によると、騒音は、厚員区において、国が定める居住地域の環境基準値である70デシベルを上回る72デシベルが測定されたとのことです。

市では、騒音対策として県内の新幹線沿線自治体8市4町で組織する長野県北陸新幹線鉄道環境対策協議会を通じ、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構および東日本旅客鉄道株式会社に対し、環境保全に関する要望を行っているとのことです。

問題については、関係機関による適切な対応が図られることを希望するとともに、その動向について今後も注視して参りたいと考えています。なお、振動については、基準値を超える地域は本市を含め、県内にはなかったとのことです。

次に、上信越自動車道信濃町インターチェンジ、上越ジャンクション間の4車線化について。

上信越自動車道は、平成11年に全線が開通いたしました。信濃町インターチェンジ、上越ジャンクション間の37・5kmは暫定2車線による開業となりました。

このため、安全性および利便性の観点から、同区間の4車線化の早期実現がかねてより課題でありました。

平成24年4月、信濃町インターチェンジ、上越ジャンクション間の4車線化事業が国において許可された後、平成26年に本体工事が開始となり、昨年12月5日に4車線運用が開始されました。

これにより、行楽期や休日等における渋滞の緩和、対向車線への飛び出し事故の防止、冬の円滑な交通確保などが図られることから、本市においても他地域との一層の交流促進、経済

面への好影響が期待されるところでです。

以上、北陸新幹線長野・金沢間の開業後の本市における環境に係る諸問題、高速自動車道の整備状況等についてご報告いたしました。騒音問題については、抜本的な対策が講じられ、一日も早く市民の生活環境が良好なものとなるよう切に願うとともに、北陸新幹線や高速自動車道の整備による高速交通網の進展が、本市の益々の発展に寄与することを期待し、高速交通対策特別委員会の報告といたします。

## 議会改革検討委員会報告

平成30年5月市議会臨時会におきまして、委員8人により構成する、第5代前期の議会改革検討委員会が設置されました。

以後、8回に渡り委員会を開催し、議会改革について検討を重ねてきました。本委員会におけるこれまでの検討結果等についてご

報告します。

はじめに、定期的な議員研修会の開催について、議員の資質向上を図るため、全議員を対象とした研修会を定期的に実施することとしました。

令和元年度においては、専門的知識を持つ外部講師を招き、政治倫理研修会を

開催しました。

次に、災害発生時の議員の行動基準を定めたマニュアルについて、大地震等による大規模災害発生時において、適正かつ迅速な対応を行うため、議員の行動基準となるマニュアルを作成することとしました。先進地事例、本市の特性等を踏まえ検討を重ね、令和元年6月に「中野市議会災害時

対応マニュアル」を制定しました。

昨年10月の令和元年東日本台風におきましては、本マニュアルに沿い、各議員が災害時、また、復旧時における対応を行いました。

次に、各常任委員会による関係団体等との懇談会の開催について、議会への関心・親近感の向上、常任委員の専門性の向上、市民意

見の政策提言への反映等を目的とし、中野市議会常任委員会懇談会実施要領を定め、毎年度1回以上開催することとしました。

令和元年度においては、総務文教委員会は市校長会民生環境委員会は市スポーツ推進委員会、経済建設委員会は市建設業協会との懇談会を開催しました。

次に、議会だよりの充実

等をはじめとした議会の見える化の推進について、議会、だよりの紙面・内容の充実について議会、だより編集委員会へ申し入れを行いました。

議会改革実施事項のほか、本会議等の欠席事由の明確化、議員報酬・議員定数、タブレット端末等を活用したペーパーレス化の推進、予算議案の委員会審査方法等につきまして、研究を行い、第5代後期においても議会改革検討委員会が設置される場合にあつては、引き続き検討を希望するものとした。

本委員会につきましては限られた時間の中ではありましたが、市民の皆様、関係団体のご協力の下、開かれた議会、一層効率的な議会運営を目指す本市議会の議会改革について、一定の役割を果たせたのではないかと考えております。

ご協力いただきました皆様、改めて感謝し、議会改革検討委員会の報告いたします。

### 3月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和元年度中野市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告について	承認	議案第20号	令和元年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第2号	中野市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第21号	令和元年度中野市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第3号	中野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第22号	令和2年度中野市一般会計予算	可決
議案第4号	中野市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議案第23号	令和2年度中野市国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第5号	中野市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	議案第24号	令和2年度中野市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議案第6号	中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第25号	令和2年度中野市介護保険事業特別会計予算	可決
議案第7号	中野市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例案	可決	議案第26号	令和2年度中野市優財産区事業特別会計予算	可決
議案第8号	中野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第27号	令和2年度中野市永田財産区事業特別会計予算	可決
議案第9号	中野市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	議案第28号	令和2年度中野市中野財産区事業特別会計予算	可決
議案第10号	中野市霊園条例案	可決	議案第29号	令和2年度中野市下水道事業会計予算	可決
議案第11号	中野市環境保全及び公害防止に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第30号	令和2年度中野市水道事業会計予算	可決
議案第12号	中野市印鑑条例の一部を改正する条例案	可決	議案第31号	台風第19号豪雨災害復旧事業農地・用排水路復旧工事請負契約の締結について	可決
議案第13号	中野市人権センター条例の一部を改正する条例案	可決	議案第32号	中野市辺地対策総合整備計画の変更について	可決
議案第14号	中野市森林経営管理基金の設置、管理及び処分に関する条例案	可決	議案第33号	中野市立豊田小学校及び豊田中学校整備工事変更請負契約の締結について	可決
議案第15号	中野市若者住宅条例の一部を改正する条例案	可決	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第16号	中野市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	請願第1号	自衛隊の中東派遣を直ちに中止し、中東地域から撤収することを求める請願	不採択
議案第17号	中野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	請願第2号	学校給食センター調理業務の民間委託を止めることを求める請願	不採択
議案第18号	令和元年度中野市一般会計補正予算(第7号)	可決	陳情第1号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情	不採択
議案第19号	令和元年度中野市一般会計補正予算(第8号)	可決			

表紙の写真

3月25日、ひらおか保育園のオープニングセレモニーが開催されました。新園舎は、園児同士の交流スペースが設置されるなど、子ども達の育ちに配慮されたものとなっています。

3月24日、平岡小学校、長丘小学校、科野小学校、倭小学校の閉校式が中野市役所で行われました。

各小学校の校旗が返納され、伝統ある4小学校の幕が閉じました。

4小学校閉校の一方、4月7日、新たに開校した高社小学校では、入学式が開催されました。新たな仲間と共に、新入生を迎え、高社小学校の新たな歴史を刻む第一歩が踏み出されました。



市議会を傍聴しませんか

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2 1 1 1 (内線316) FAX (22) 5 9 2 2  
Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



手話通訳申請  
ながの電子申請サービス

議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。インターネット録画中継は、パソコンをお持ちの方は、いつでも本会議の様態を視聴することができます。是非、ご覧ください。

視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス  
中野市議会ホームページ  
<http://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

配信している議会中継 平成30年5月市議会臨時会分～

配信時期 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



第5代前期  
議会だより  
編集委員名簿

委員長	菅澤 孝幸
副委員長	松野 繁男
委員	松樹 純子
"	中村 秀人
"	中村 明文
"	宇塚 千晶
"	青木 正道
"	永沢 清生
"	高野 良之
"	町田 博文

令和2年6月中野市議会  
定例会会期日程(予定)

- 開会日 6月4日(木曜日)
  - 市政一般質問 6月11日(木曜日)
  - 6月12日(金曜日)
  - 6月15日(月曜日)
  - 常任委員会 6月16日(火曜日)
  - 6月17日(水曜日)
  - 閉会日 6月19日(金曜日)
  - 請願・陳情について 6月定例会における請願書および陳情書の受付は、6月8日(月曜日)の午後1時までです。
- ※他の行事等により日程が変更する場合があります。

あとがき

4月7日、平岡小学校、長丘小学校、科野小学校、倭小学校が統合し、新たに開校した高社小学校が入学式を迎えました。子ども達にとって大きな環境の変化となりましたが、更なる挑戦と成長の場となるよう期待しています。令和に入り1年が経過しようとしています。令和元年東日本台風、新型コロナウイルスの感染拡大と大きな出来事が続いています。新型コロナウイルスに関しては、東京オリンピックが延期されるなど、世界中に様々な影響を与えています。一日も早く、平穏な日常が戻ることを願っています。2020年版「住みたい田舎」ベストランキングで中野市が539自治体中73位にランクされました。「住みたい田舎」に上位ランクされるとともに、市民の方にも住んでいて良かったと思える市となるよう尽力して参ります。